

科目番号	21025	分類	基礎分野	履修者	東が丘・立川看護学部	学年	2			
科目名	ボランティア論 (Volunteer Outline)					配当セメスター	後期			
						担当者				
○ 小宇田 智子 高木 晴良 堀田 昇吾					区分	選択	単 位	1	時間 数	15
授業の概要および目標						学位授与方針との関連				
<p>【概要】 ボランティア活動に対する関心が高まり多様なボランティア活動が展開されている.このような現状の中で保健医療の専門職としてボランティア活動に対する理解を深める。</p> <p>【目標】 ボランティア活動は、強制されたり、義務で行ったりするものではなく、自分の意思に基づいて取り組む活動である。ボランティア活動を通して、コミュニケーション能力、多様な問題に柔軟に取り組む姿勢等が醸成され、自分自身もさまざまなものを得ることができる。 多様なボランティア活動についての理解を深めると同時に、医療・保健・福祉に関するボランティア活動の事例を通して、専門職としてのスキルを生かしたボランティア活動、ボランティアコーディネーションのあり方等を考察できることを目標とする。</p>						○	1. 豊かな知性と人間性に支えられて、倫理的な意思決定に基づく看護を自律的に実践できる能力			
						○	2. 看護学の基盤となる人間に関連した基礎科学および看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・総合的な思考・判断に基づいて自律的に看護を実践できる能力			
						○	3. 看護の対象者や医療従事者等と適切なコミュニケーションをとりながら看護を実践できる能力			
						○	4. 発展・進化する看護の知識・技術を積極的に探求し、自らも看護学の発展に創造的に関わることのできる能力			
						○	5. 国際的な視野の下で、看護学の専門性を発揮し、地域社会・国際社会に貢献できる能力			
授 業 計 画										
回	内 容						担当教員			
第1回	ガイダンス・ボランティアとは						高木			
第2回	グループワーク（各種ボランティア活動とは）						高木・堀田 小宇田			
第3回	環境問題・高齢者問題とボランティア活動						高木			
第4回	障害者問題・児童問題とボランティア活動						堀田			
第5回	国際交流・国際協力に関連したボランティア活動						小宇田			
第6回	災害に関連したボランティア活動の実際						渡會			
第7・8回	実際のボランティア活動						高木・堀田 小宇田			
事前・事後学習	事前学習：テーマとなるボランティア活動の種類や内容について調べて、発表する 事後学習：ボランティア活動を振り返り、レポートにまとめる									
評価の方法	授業参加（50%）、ボランティア活動の発表（50%）から総合的に判断する。									
参考図書・資料等	岡本榮一他(2009), 学生のためのボランティア論, 社会福祉法人 大阪ボランティア協会									
備考	オフィスアワーについては、履修案内を参照し、教員と日程調整する。									